



Dr. Joseph V. Charyk

- Chairman and Chief Executive Officer
- COMSAT Corporation

衛星通信技術の発展と、国際衛星通信網の実現
に対する指導的貢献

略歴と主なる業績

• ジョセフ V. チャリク博士は、現在、Communication Satellite Corporation (COMSAT) の代表取締役会長の任にある。このCOMSATは、INTELSATに対し、米国を代表する調印会社である。ここにINTELSATとは、世界衛星通信システムの所有と運営を司る国際会社である。

• チャリク博士は、1963年、COMSATの設立時の初代社長に就任され、商用の衛星通信を実現させたパイオニアである。同博士の指導のもとに、COMSATは、それまでは単に机上のアイディアと見做されていた世界通信システムを実現させ、今日、何十億の世界の人々に、国際通信サービスを提供するに至った。このような観点から、INTELSATは、国際的協力の歴史的最大の事例として認識されている。

• 長年にわたってCOMSATは、チャリク博士の指導のもとに着実に発展して来た。今日、年収は4億5千万ドルに近付きつつある。同会社の広汎なサービスは国際通信、国内通信から海上通信にまで及んでいる。

• 同博士は、1960～1963年の間、米国空軍次官に任ぜられた。なおそれに先立ち、同じく空軍の研究開発担当のChief Scientist and Assistant Secretaryを務められた。

• 1950年代の初期には、同博士は、Princeton Universityの航空工学担当の教授を務められ、同大学のGuggenheim Jet Propulsion Centerの設立を援助された。1950年半ばにはFord Motor Companyの子会社のAeronautronic Systems社、Lockheed Aircraft Corporation社など、主要数社の上級幹部を務められた。

• カナダ・アルバータ出身のチャリク博士は、アルバータ大学で理学士号を得られた。次いで、California Institute of Technologyで、航空工学の修士号とPhDを修得された。また、アルバータ大学とボローグナ大学より、それぞれ名誉博士号を贈られた。

• 1982年に同博士は、レーガン大統領により、National

Telecommunications Security Advisory Councilのメンバーに指名され、次いで1984年、同委員長に任ぜられた。

• 同博士は、American Institute of Aeronautics and AstronauticsおよびIEEEのFellowであり、また、National Academy of Engineering, International Academy of Astronautics, National Institute of Social Sciences, National Space ClubおよびArmed Forces Communications and Electronics Associationのそれぞれのメンバーである。

• 同博士は、Abbott Laboratories, American Security CorporationおよびDraper Laboratory Corporationのそれぞれの役員をしておられる。

主なる受賞

- Distinguished Service Medal (U. S. Government)
- Lloyd V. Berkner Space Utilization Award
- Distinguished Aviation Aerospace Service Award
- Guglielmo Marconi International Award
- Television Arts and Sciences Directorate Award
- Theodore Von Karman Award
- Goddard Astronautics Award



Mr. Sidney Metzger

- Consultant
- Former Vice President and Chief Scientist
- COMSAT Corporation

衛星通信技術の発展と、国際衛星通信網の実現
に対する指導的貢献

略歴と主なる業績

• 1939年より1945年まで、メツガー氏は、米国陸軍の Signal Corps Lab. に勤務され、当初はレーダー装置の、後には通信方式の研究に携わられた。この間、1942年には英国を訪問し、最初のマイクロ波無線中継方式である Wireless Set No.10. 開発の調査をされた。このものは電話 8 回線の時分割多重方式である。その後、米国において、その改良方式としての AN/TRC-5, AN/TRC-6 および同用の PCM 端末装置が開発された。この間、メツガー氏は、Radio Relay Branch の技師長としてこれを指導された。

• 1945年より1954年まで、同氏は、ITT 研究所に勤務された。そこでは Division Head として、商用および軍用の無線中継方式の開発と初期製造を担当された。その間、1949～1951年には、2000MHz の時分割24通話路多重方式について、カナダ、メキシコ、ベルギー、それから米国のフロリダ、オレゴン、ペンシルベニア、ワシントンの各州での建設に従事された。さらに同部門では、時分割48通話路方式、2000MHz 高周波方式、PCM96通話路端末装置の開発もされた。

• 1954年より1957年まで、同氏は、NJ州プリンストンの RCA 研究所に勤務された。同所では、Rand Corporation およびアラバマ州ハンツビル の Dr. Werner Von Braun のグループのための人工衛星に関する研究に従事された。

• 1957年より1963年の間、同氏は、新設の RCA Astro Electronics Division の Communication Engineering Department の部長に任ぜられた。そこでは、人工衛星の三つのプロジェクト、即ち、SCORE (1958)、TIROS (1960)、および RELAY (1962) に関する通信技術の開発と管理の責任を持たれた。

• 1963年、メツガー氏は、新しく設立された COMSAT 社に技術部長として入社され、人工衛星および地上局装置に関する技術の責任者となられた。そして INTELSAT - I 号から N 号までの衛星と地上局の計画

を担当された。

• 同氏はまた、AT&T と COMSAT との契約に基づく国内通信衛星用の二重偏波アンテナの開発の成功にも関与された。

• 1970年の後半、同氏は、直接放送用衛星の設計思想の作成を担当された。

• メツガー氏は、Vice President and Chief Scientist を最後に、COMSAT を退社し、自らの技術コンサルタンツ会社を開設された。その対象とするところは、衛星通信システムの問題で、特に地上局からの電波の生物学的影響を重点としている。

主なる受賞と会員

- Member of the National Academy of Engineering
- Fellow of the IEEE
- Fellow of the AIAA
- International Communication Award of the IEEE
- Aerospace Communication Award of the AIAA
- Member of NASA's Space Applications Advisory Committee
- Member of the Aeronautics and Space Engineering Board Ad Hoc Committee

主なる講演と著述

- " Considerations of Moon Relay Communications " (National Convention of the IRE, March 1947)
- " The Orbital Post Office " (American Rocket Society, November 1958)
- " Concept for an Intercontinental Satellite Communications System " (American Rocket Society, October 1961)